



# 金星とすばるをみよう！

金星とすばる（プレアデス星団<sup>せいだん</sup>）が近くにいる<sup>にくがん</sup>みやすくなっている。肉眼でもみられるが、<sup>も</sup>持っている人は双眼鏡も使いながら探そう！

## <探し方>

暗くなってくると、西の方の空にほかの星と<sup>だんちが</sup>段違いに明るい星がみえてくる。これが金星で、<sup>みぎがわ</sup>金星の右側にあるもやとしたかたまりがすばるである。肉眼ではみるのが難しいが、金星のすぐ下の方には天王星もある。



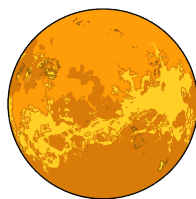
4月24日19時30分ころの空（ステラナビゲータ11より）

## ☆金星とまわりの星の位置関係

2026年9月ごろまで宵の空で金星を楽しむことができるが、金星は星座の星たち<sup>あいだ うご</sup>の間を動いているようにみえるため、実は毎日位置が変化している。金星とすばる・おうし座のアルデbaranは今日は上の図のようにならんでいるが、4月30日にはどうなっているだろう？（スケッチや写真で記録をとるのもオススメ！）

## ☆金星

- ・太陽のまわりを回る星で「惑星」のひとつ
- ・分厚い雲が太陽の光をよく反射し、とても明るくみえる
- ・金星をおおっている雲が熱を閉じこめるため、表面の温度が非常に高くなっている（500度ほど）



金星◎松谷

## 次回観覧会のおしらせ

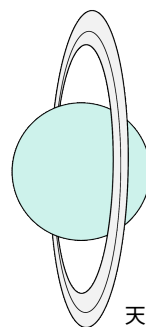
2026年5月19日（火）

19：00～21：00  
（最終受付20：30）

テーマ「金星・月」

## ☆天王星

- ・太陽のまわりを回る星で「惑星」のひとつ
- ・表面が氷でおおわれている
- ・細い輪がある
- ・自転軸の傾きが大きく、ほぼ横だおしになっている



天王星◎松谷

天体メモ



すばる◎国立天文台

## ☆すばる（プレアデス星団・M45とも）

- ・たくさんの星が集まっている「星団」のひとつ
- ・比較的若い星が多い
- ・肉眼でもみることができ、もやとしたかたまりにみえたりしりよく視力がいい人はその中に6個ほどの星がみえたりする